

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第154期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 大成建設株式会社

【英訳名】 TAISEI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山内 隆 司

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿一丁目25番1号

【電話番号】 03(3348)1111(大代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員経理部長 桜井 滋 之
株式室長 藤本 亨 輔

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿一丁目25番1号

【電話番号】 03(3348)1111(大代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員経理部長 桜井 滋 之
株式室長 藤本 亨 輔

【縦覧に供する場所】 大成建設株式会社 関西支店
(大阪市中央区南船場一丁目14番10号)
大成建設株式会社 名古屋支店
(名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
(JRセントラルタワーズ内))
大成建設株式会社 横浜支店
(横浜市西区みなとみらい三丁目6番3号
(MMパークビル内))
大成建設株式会社 千葉支店
(千葉市中央区新町1000番地(センシティタワー内))
大成建設株式会社 関東支店
(さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地16
(シーノ大宮ノースウィング内))
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第153期 第2四半期 連結累計期間	第154期 第2四半期 連結累計期間	第153期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	567,929	631,882	1,416,495
経常利益	(百万円)	13,582	22,574	35,063
四半期(当期)純利益	(百万円)	3,034	12,693	20,050
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	3,403	36,147	56,500
純資産額	(百万円)	293,080	376,450	343,300
総資産額	(百万円)	1,393,083	1,452,198	1,543,094
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	2.66	11.14	17.60
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	20.9	25.8	22.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,247	30,593	73,081
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,270	3,415	4,703
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	21,361	28,803	46,551
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	217,335	211,056	265,772

回次		第153期 第2四半期 連結会計期間	第154期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	3.30	8.40

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていない。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社に異動はない。

第2 【事業の状況】

第2 【事業の状況】における各事項の記載については、消費税等抜き金額で表示している。

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものである。

(1) 業績の状況

日本経済は、金融・財政政策の一定の効果により、生産・消費の改善に加え設備投資にも回復の兆しが見え始めるなど、回復基調を辿った。

国内建設市場は、地方圏や製造業への波及は限定的であったものの、首都圏を中心に需要全体は堅調であった。

こうした状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりとなった。

売上高については、土木事業及び建築事業の増加により前年同期比11.3%増の6,318億円となった。

利益については、土木事業の増収及び利益率改善により売上総利益は前年同期比11.7%増の579億円となり、営業利益は同38.7%増の217億円となった。また、営業利益の増加に加え、為替差損の解消等に伴う営業外損益の好転により経常利益は同66.2%増の225億円となった。四半期純利益は前年同期に投資有価証券評価損を計上したことの反動等に伴い特別損益が好転したことから、同318.3%増の126億円となった。

なお、当社グループの主たる事業である土木事業、建築事業及び開発事業には、完成物件の引渡しが見込まれるなど、特に第4四半期に偏るといった季節的変動要因がある。一方、販売費及び一般管理費は恒常的に発生するため、第2四半期連結累計期間の経営成績は、一般的に低くとどまる傾向がある。

報告セグメント等の業績を示すと次のとおりである（報告セグメント等の業績については、セグメント間の内部取引を含めて記載している。）。

土木事業

売上高は当社及び連結子会社の増加により前年同期比23.2%増の1,848億円となった。また、営業利益についても増収に加え、当社及び連結子会社の利益率好転により完成工事総利益が増加したことから、同145.1%増の118億円となった。

建築事業

売上高は当社の増加により前年同期比6.2%増の4,180億円となったものの、当社の利益率悪化により完成工事総利益が減少したことから営業利益は同25.1%減の57億円となった。

開発事業

売上高は連結子会社における分譲マンションの引渡戸数の減少等により前年同期比2.8%減の529億円となったものの、当社の開発事業総利益が増加したことから営業利益は同32.7%増の35億円となった。

その他

売上高は前年同期比1.6%増の45億円、営業利益は同51.0%増の2億円となった。

(2) 財政状態

資産の状況

資産合計は、回収に伴う完成工事未収入金の減少等により前連結会計年度末比5.9%・908億円減少し、1兆4,521億円となった。

負債の状況

負債合計は、支払に伴う工事未払金の減少等により前連結会計年度末比10.3%・1,240億円減少し、1兆757億円となった。なお、資金調達に係る有利子負債残高は、前連結会計年度末比6.8%・256億円減少し、3,534億円となった。

純資産の状況

純資産は、株式相場上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末比9.7%・331億円増加し、3,764億円となった。また、自己資本比率は、前連結会計年度末比3.7ポイント増の25.8%となった。

(3) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少等により、当第2四半期連結累計期間の収支は305億円の支出超（前年同期は12億円の収入超）となった。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却等により、当第2四半期連結累計期間の収支は34億円の収入超（前年同期は22億円の支出超）となった。

財務活動によるキャッシュ・フロー

資金調達に係る有利子負債の返済等により、当第2四半期連結累計期間の収支は288億円の支出超（前年同期は213億円の支出超）となった。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物」は2,110億円（前連結会計年度末比547億円減）となった。

(4) 対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費は40億円である。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はない。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	2,200,000,000
計	2,200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	1,140,268,860	1,140,268,860	東京・名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株である。
計	1,140,268,860	1,140,268,860		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年9月30日		1,140,268,860		112,448		56,538

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	45,617	4.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	39,290	3.45
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	東京都中央区晴海一丁目8番12号	39,289	3.45
大成建設社員持株会	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号	30,355	2.66
大成建設取引先持株会	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号	26,471	2.32
三菱地所株式会社	東京都千代田区大手町一丁目6番1号	17,604	1.54
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	14,238	1.25
ザバンクオブニューヨーク トリートリー ジヤスデック アカウント (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	AVENUE DES ARTS, 35 KUNSTLAAN, 1040 BRUSSELS, BELGIUM (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	13,722	1.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	10,296	0.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	9,933	0.87
計		246,817	21.65

(注) 1 株式会社みずほ銀行から平成25年7月22日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり、平成25年7月15日現在で以下の株式を保有している旨の報告を受けているが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主の状況は株主名簿によっている。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	39,289	3.45
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	1,966	0.17
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	20,474	1.80
みずほ投信投資顧問株式会社	東京都港区三田三丁目5番27号	1,815	0.16
計		63,545	5.57

2 三井住友信託銀行株式会社から平成25年9月20日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり、平成25年9月13日現在で以下の株式を保有している旨の報告を受けているが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主の状況は株主名簿によっている。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	38,653	3.39
三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	東京都港区芝三丁目33番1号	1,995	0.17
日興アセットマネジメント 株式会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号	27,207	2.39
計		67,855	5.95

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,252,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式1,132,352,000	1,132,352	
単元未満株式	普通株式 6,664,860		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	1,140,268,860		
総株主の議決権		1,132,352	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の株式数及び議決権の数には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株(議決権6個)含まれている。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には自己保有株式が200株含まれている。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 大成建設株式会社	東京都新宿区西新宿 一丁目25番1号	1,252,000		1,252,000	0.11
計		1,252,000		1,252,000	0.11

2 【役員の状況】

該当事項なし。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載している。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	266,638	212,153
受取手形・完成工事未収入金等	430,099	363,217
未成工事支出金	83,925	100,857
たな卸不動産	¹ 133,829	¹ 128,041
その他のたな卸資産	² 5,374	² 6,592
その他	93,731	90,899
貸倒引当金	959	649
流動資産合計	1,012,639	901,112
固定資産		
有形固定資産		
土地	138,779	138,781
その他(純額)	67,295	65,517
有形固定資産合計	206,075	204,299
無形固定資産	7,239	6,262
投資その他の資産		
投資有価証券	257,370	289,331
その他	66,103	57,094
貸倒引当金	6,334	5,901
投資その他の資産合計	317,140	340,523
固定資産合計	530,455	551,085
資産合計	1,543,094	1,452,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	485,400	379,940
短期借入金	144,906	138,788
1年内償還予定の社債	2,200	12,300
未成工事受入金	115,697	136,166
完成工事補償引当金	2,583	3,183
工事損失引当金	31,278	23,451
受注損失引当金	240	240
その他	124,975	117,069
流動負債合計	907,281	811,138
固定負債		
社債	46,200	45,000
長期借入金	185,766	157,372
退職給付引当金	33,729	35,130
役員退職慰労引当金	427	324
関係会社事業損失引当金	507	314
環境対策引当金	307	289
その他	25,575	26,179
固定負債合計	292,513	264,609
負債合計	1,199,794	1,075,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	112,448	112,448
資本剰余金	94,169	94,169
利益剰余金	93,020	102,845
自己株式	301	316
株主資本合計	299,336	309,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,931	68,738
繰延ヘッジ損益	207	139
土地再評価差額金	960	952
為替換算調整勘定	2,568	2,288
その他の包括利益累計額合計	42,194	65,357
少数株主持分	1,769	1,945
純資産合計	343,300	376,450
負債純資産合計	1,543,094	1,452,198

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
完成工事高	504,532	569,226
開発事業等売上高	63,396	62,655
売上高合計	567,929	631,882
売上原価		
完成工事原価	464,325	523,718
開発事業等売上原価	51,708	50,214
売上原価合計	516,034	573,932
売上総利益		
完成工事総利益	40,207	45,507
開発事業等総利益	11,687	12,441
売上総利益合計	51,895	57,949
販売費及び一般管理費	¹ 36,196	¹ 36,182
営業利益	15,698	21,766
営業外収益		
受取配当金	1,483	1,550
為替差益	-	867
その他	1,859	1,386
営業外収益合計	3,343	3,805
営業外費用		
支払利息	3,358	2,590
為替差損	1,624	-
その他	477	406
営業外費用合計	5,459	2,997
経常利益	13,582	22,574
特別利益		
固定資産売却益	5	36
投資有価証券売却益	0	828
ゴルフ会員権売却益	5	-
その他	-	7
特別利益合計	11	872
特別損失		
投資有価証券評価損	6,224	24
訴訟和解金	181	50
固定資産除却損	101	33
その他	776	49
特別損失合計	7,282	158
税金等調整前四半期純利益	6,310	23,288
法人税等	3,200	10,377
少数株主損益調整前四半期純利益	3,110	12,911
少数株主利益	75	218
四半期純利益	3,034	12,693

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,110	12,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	22,806
繰延ヘッジ損益	46	67
為替換算調整勘定	32	264
持分法適用会社に対する持分相当額	0	96
その他の包括利益合計	293	23,235
四半期包括利益	3,403	36,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,320	35,848
少数株主に係る四半期包括利益	82	298

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,310	23,288
減価償却費	3,276	3,329
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,956	746
工事損失引当金の増減額(は減少)	4,155	7,842
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,064	1,393
受取利息及び受取配当金	1,924	1,833
支払利息	3,358	2,590
為替差損益(は益)	1,624	867
有価証券及び投資有価証券評価損益(は益)	6,224	24
売上債権の増減額(は増加)	79,623	67,602
未成工事支出金の増減額(は増加)	24,645	16,858
たな卸不動産の増減額(は増加)	1,244	5,787
その他のたな卸資産の増減額(は増加)	358	1,217
その他の流動資産の増減額(は増加)	8,664	3,134
仕入債務の増減額(は減少)	71,811	105,647
未成工事受入金の増減額(は減少)	8,168	19,951
その他の流動負債の増減額(は減少)	13,789	16,247
その他	5,327	3,983
小計	6,962	28,142
利息及び配当金の受取額	2,015	1,874
利息の支払額	3,438	2,649
法人税等の支払額	4,291	1,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,247	30,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	1,724	125
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	2,673	2,189
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	26	7,102
有形及び無形固定資産の取得による支出	2,876	3,498
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,052	2,054
その他	475	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,270	3,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	10,735	13,958
長期借入れによる収入	31,540	8,000
長期借入金の返済による支出	59,469	28,553
社債の発行による収入	-	9,955
社債の償還による支出	1,100	1,100
配当金の支払額	2,848	2,847
その他	219	299
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,361	28,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,442	1,264
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	23,827	54,716
現金及び現金同等物の期首残高	241,163	265,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 217,335	¹ 211,056

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
(税金費用の計算)	
税金費用に関しては、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。	
ただし、税引前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を乗じて計算している。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸不動産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
販売用不動産	70,180百万円	63,037百万円
開発事業支出金	63,648	65,003
計	133,829	128,041

2 その他のたな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
その他事業支出金	3,591百万円	4,488百万円
材料貯蔵品	1,783	2,104
計	5,374	6,592

3 偶発債務

(1) 保証債務

下記の連結会社以外の会社等の借入金等に対して保証を行っている。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
大成富士山南陵開発(株)	3,900百万円	大成富士山南陵開発(株)	3,230百万円
アール40(同)	1,651	アール40(同)	1,646
その他8件	1,242	その他8件	1,268
計	6,793	計	6,145

なお、アール40(同)に対する保証債務については連結会社の負担額を記載している。

(2) 追加出資義務

下記の特定期限の借入金返済義務等に対して追加出資義務を負っている。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
駿河台開発特定目的会社	15,680百万円	駿河台開発特定目的会社	15,680百万円
中野駅前開発特定目的会社	4,000	中野駅前開発特定目的会社 ワイビー浜町開発特定目的 会社	4,000 1,600
計	19,680	計	21,280

なお、駿河台開発特定目的会社及び中野駅前開発特定目的会社に対する追加出資義務については連結会社の負担額を記載している。

(四半期連結損益計算書関係)

1 このうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料手当	13,854百万円	13,872百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金預金勘定	218,192百万円	212,153百万円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	856	1,097
現金及び現金同等物	217,335	211,056

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	2,848	2.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	2,847	2.50	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	2,847	2.50	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月12日 取締役会	普通株式	2,847	2.50	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	土木	建築	開発	計				
売上高								
外部顧客への売上高	139,733	373,046	51,674	564,455	3,473	567,929	-	567,929
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,257	20,442	2,823	33,523	1,046	34,569	34,569	-
計	149,991	393,489	54,497	597,978	4,519	602,498	34,569	567,929
セグメント利益	4,837	7,728	2,709	15,275	182	15,458	240	15,698

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託研究・技術提供・環境測定等建設業に付帯関連する事業、レジャー関連事業、その他サービス業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額240百万円には、セグメント間取引消去等269百万円、のれん償却額 28百万円が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	土木	建築	開発	計				
売上高								
外部顧客への売上高	172,527	405,177	50,523	628,228	3,654	631,882	-	631,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,324	12,894	2,468	27,688	938	28,627	28,627	-
計	184,852	418,072	52,992	655,916	4,592	660,509	28,627	631,882
セグメント利益	11,855	5,790	3,596	21,242	275	21,517	249	21,766

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託研究・技術提供・環境測定等建設業に付帯関連する事業、レジャー関連事業、その他サービス業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額249百万円には、セグメント間取引消去等278百万円、のれん償却額 28百万円が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益	2.66円	11.14円
(算定上の基礎)		
四半期純利益 (百万円)	3,034	12,693
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	3,034	12,693
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,139,297	1,139,040
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していない。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2【その他】

中間配当に関する取締役会の決議は、次のとおりである。

決議年月日	平成25年11月12日
中間配当金の総額	2,847,541,650円
1株当たりの額	2.50円
支払請求の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月3日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

大成建設株式会社

代表取締役社長 山内 隆 司 殿

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 辰 己 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 星 長 徹 也 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 草 野 和 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大成建設株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大成建設株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、当社（四半期報告書提出会社）が、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。